

<特別展示「American Heritage アメリカンヘリテージ」の名車達>

●1970年式ダッジ・チャレンジャーR/T 440+6 コンバーチブル

フォード・マスタングやシボレー・カマロが火をつけたポニーカーカテゴリーにクライスラーが1970年にダッジブランドから投入したのがチャレンジャー。その特徴はスポーティなルックスだけでなく、多くのエンジンバリエーションや装備をチョイスできることで、若者から富裕層までをターゲットにした。中にはハイパフォーマンスなV8エンジンもチョイスでき、オイルショックまで隆盛を極めたマッスルカームーブメントをけん引したモデルといえる。展示車両は440（7200cc）V8を搭載する。



●1967年式シボレー・カマロRS

4座のコンパクトでスポーティなスタイルだったポニーカーカテゴリーにGMがシボレーブランドから1967年に投入したのがカマロ。第1世代は2ドアクーペ、コンバーチブルが存在し、走りに注力したハイパフォーマンスなモデルも存在した。コンパクトなボディながら流麗な2ドアクーペスタイルで、ストリートからサーキットまで活躍した名車のひとつ。歴代モデルはアメリカのSCCAトランザムレースで多くの実績を残した。2024年現在は第6世代目となり、今もアメリカ車の定番モデルとして君臨する。



●1976年式AMCジープJ-10



乗用車よりもピックアップトラックが売れるアメリカでは自家用でピックアップを所有することも当たり前の国。各メーカーが多くピックアップトラックを販売するなかで、当時のAMCがジープのコンポーネントを流用したフルサイズピックアップがJシリーズ。これはそれまで存在していたピックアップトラックであるジープ・グラディエーターの後継モデルとして1971年に生まれた。当時は4輪駆動のフルサイズピックアップは珍しく、ジープの持つ高い悪路走破性は商用からレジャーまで歓迎された。

●1963 年式シボレー・コルベット

第二次世界大戦のヨーロッパ戦線で欧州のスポーツカーに触れたアメリカ人たちの思いが起因となり、アメリカ製 2 シータースポーツとして 1953 年に生まれたコルベット。当時としては先進的だったFRP をボディに採用して軽量化し、そこにパワフルなエンジンを搭載した。アメリカ車の歴史のなかでも数少ない純粋なスポーツカーとしての歴史を今も歩んでいる。その中でも最も人気が高い第 2 世代最初のモデルとなる 1963 年式のクーペはリアウィンドーが 2 分割された「スプリットウィンドー」を持った稀少モデル。



●1983 年式 AMC イーグル・ワゴン

当時ジープの製造権を持っていた AMC（アメリカン・モーターカンパニー）がその 4WD のノウハウをコンパクトな乗用車のボディに投入することで 1980 年に発売したのがイーグル。乗用車の乗り心地で高い走破性を実現させたモデルとして誕生した。ボディは 2 ドアクーペ、2 ドア・コンバーチブル、4 ドアセダン、4 ドアワゴンが存在し、4 ドアワゴンはもっともユーティリティの高いモデルだった。その発想は現在のクロスオーバーSUV の元祖ともいえる存在で、今見ても当時のアメリカの先進性を見て取れる歴史的モデルといえる。



※展示車両は、予告なく変更になる場合があります。